

主 題： 主の来臨のために自分自身の用意を整える

標 語

主の来臨のために自分自身の用意を整えるために、わたしたちは主イエスを愛し、彼をわたしたちの命とし、彼を生き、彼を大きく表現して、彼の来臨を待ち望み、彼の出現を愛する必要があります。このことは、わたしたちの心の願い、またわたしたちの生活となるべきです。

主の来臨のために自分自身の用意を整えるために、夜が明けて、明けの明星としてのキリストがわたしたちの心にひそかに昇り、現れるまで、暗い所に輝くともし火に心をとめるように、預言者の言に心をとめなければなりません。

主の来臨のために自分自身の用意を整えるために、わたしたちは主をわたしたちの霊的食物として享受する必要があります。それはわたしたちが、他の人たちを養うことができるためです。わたしたちはすべての祈りによって、また彼の言葉を思い巡らすことによって、すなわち、多くの再考をもって彼の言葉を声に出して語ることによって、彼の言葉を受け取る必要があります。

主の来臨のために自分自身の用意を整えるために、わたしたちは日ごとに更新される復興の生活をし、御父の愛し赦す心と、わたしたちの救い主キリストの牧養し捜し求める霊をもって、牧養の働きをする必要があります。

メッセージ 1

主の出現を愛して、今の世を愛さないことによって、
主の来臨のために自分自身の用意を整える

聖書：Ⅱテモテ 4:8, 10, 18. ローマ 12:2.

Ⅰヨハネ 2:15. 5:19 後半. 啓 17:14. 22:20

**I. 主の再来がわたしたちにとって尊いなら、わたしたちは彼の出現を愛する
でしょう(慕うでしょう) ——Ⅱテモテ 4:8：**

- A. 主の出現を愛することと、主ご自身を愛することは、分離することができません——Ⅰコリント 2:9. Ⅱテモテ 4:8。
- B. わたしたちは、主が来るのを待ち望んでいるなら、彼の出現を愛する者たちであるべきです——Ⅰテサロニケ 1:10. Ⅱテモテ 4:8。
- C. 主の出現、主の再臨は、わたしたちにとって警告、励まし、動機づけです——Ⅱテモテ 4:1, 18：
 - 1. わたしたちは主の出現を愛し、切なる期待と喜びをもってそれを待ち望むべきです——啓 22:20。
 - 2. わたしたちは主の出現を愛する生活をすべきです。このことによってわたしたちは落胆せず、最後まで忠信であり続けることができます——Ⅱテモテ 4:8. 啓 17:14。

II. 「世と世にあるものを愛してはいけません。だれでも世を愛するなら、御父への愛は彼の中にありません」 ——Ⅰヨハネ 2:15：

- A. この世は邪悪な体系であり、サタンが体系化した案配です——Ⅰヨハネ 2:15-17. ヤコブ 4:4：
 - 1. 神はご自身の定められた御旨を成就するために、人を創造して地に住ませました。しかし神の敵サタンは、神の創造された人を強奪するために、文化、教育、工業、商業、娯楽、宗教をもって、人を体系化することによって、神に反対するこの世の体系をこの地上に形成しました——エペソ 3:11. 創 1:26-28. 2:8-9. 4:16-24。
 - 2. サタンは地上のすべてのもの、特に人類と関係のあるもの、また空中のすべてのものを体系化して、彼の暗やみの王国とならせ、人々を占有し、人々を妨げて神の定められた御旨を完成させないようにし、人々をそらして神を享受させないようにしています——Ⅰヨハネ 2:15-17。
 - 3. この世は父なる神に抵抗しており、世にあるものは神のみこころに抵抗しており、世を愛する者は神の敵です——15-17 節. ヤコブ 4:4。
- B. 「全世界」、すなわちサタンの体系は、「邪悪な者の中に横たわって」います——Ⅰヨハネ 5:19 後半：

1. 「全世界」は、サタンのこの世の体系と世の人々（墮落した人類）から成っています。
2. 「横たわって」とは、邪惡な者が強奪し操る領域の中で、受け身的にとどまっていることを意味します。全世界と世の人々は、邪惡な者であるサタンが強奪し操る手の下で、受け身的に横たわっています。
3. Iヨハネ第5章19節で「邪惡」と訳されたギリシャ語は、致命的で害を与える邪惡な者、人に影響を与えて、邪惡で悪い者にしてしまう者のことを言います。そのような邪惡な者とはサタン、惡魔であって、全世界はその邪惡な者の中に横たわっています。

C. サタンは、物質の世またこの世の中にあるものを利用して、最終的に反キリストの王国の中へとあらゆるものを歸属させます。その時、この世の体系はその頂点に達し、そのあらゆる構成単位は反キリストのものであることが明らかにされます——IIテサロニケ 2:3-12。

III. 主の出現を愛することは、今の世(今の時代)を愛することと相對します——IIテモテ 4:8, 10:

- A. 時代は、サタンのこの世の体系の一部分、一区分、一面です。それはサタンによって利用されて、人々を強奪し占有し、神と神の定められた御旨から彼らを引き離します——Iヨハネ 5:19, 2:15。
- B. IIテモテ第4章10節で「今の世(時代)」は、わたしたちを取り囲み、引き寄せ、誘惑するこの世を指しています。わたしたちはこの世の今の時代と接觸しなければ、この世と接觸することはできません。
- C. デマスは今の世を愛しました。彼は今の世に引き寄せられたので、使徒パウロを捨てました——IIテモテ 4:10。
- D. ローマ第12章2節でパウロは、わたしたちがこの時代にかたどられるのではなく、思いが新しくされることによって造り変えられるように勧めています：
 1. 2節の「この時代」は、この世の現在の、實際的な部分を示しています。それはからだの生活に敵対し、からだの生活に置き換わります——ローマ 12:4-5。
 2. この時代にかたどられることは、今の時代の現在の流行を取り入れることです。造り変えられることは、有機的な要素がわたしたちの存在の中へと造り込まれるようにし、こうして内側の新陳代謝的な変化を生み出します——2節, IIコリント 3:18。
 3. 今の時代は、神のみこころである召会に敵対しているので、わたしたち

はそれにかたどられてはなりません——ローマ 12:2。

4. わたしたちはキリストのからだの中に生きようとするなら、今の時代に従ったり、この時代にかたどられたり、それに同形化されたりすべきではありません——4-5 節。

E. わたしたちは今の時代を愛するなら、この世の側に付きます。わたしたちは主の出現を愛するなら、主の側に付き、主の権益のために主と共に戦います——Ⅱテモテ 4:1-2, 4-8, 10。

IV. 主を愛し、主の来臨を待ち望み、主の出現を愛する者たちは、勝利を得ます——Ⅰコリント 2:9. Ⅱテモテ 4:8. 啓 22:20. 17:14:

A. 主の出現を愛することは、今日わたしたちが主を愛しており、主のために生きていることの証拠です。ですから、それはまた、わたしたちが主の褒賞を受けるための条件となります——Ⅱテモテ 4:8, 18。

B. 主の出現を愛することは、わたしたちが正常な生活をすべきでないということの意味するものではありません。むしろ、わたしたちは主の出現を愛すれば愛するほど、今日ますます正常な生活をする必要があります——マタイ 24:40-42. Ⅱテサロニケ 1:10. 3:6-12. Ⅰテモテ 5:8。

C. 主イエスを愛し、彼をわたしたちの命とし、彼を生き、彼を大きく表現する者たちとして、わたしたちは彼の来臨を待ち望み、彼の出現を愛すべきです。このことは、わたしたち(彼の喜びの中に入り、救われて主の天的王国の中へと入り、義の冠を受けることを望んでいる者たち)の心の願い、またわたしたちの生活となるべきです——Ⅱテモテ 4:8, 18。